

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)(案)

平成 年 月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社湘南神奈交バス	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス(通称: 中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント120箇所)と町外4箇所を対象としたデマンド型交通システム(区間運行型)</p>	<p>公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、平成25年1月10日から実証運行している中井町オンデマンドバスについて、地域の需要に合致した運行サービスの見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を重ね、持続可能な地域公共交通システムとなるよう見直しを行っていく計画となっている。</p>	<p>A 平成25年11月に運行内容を見直し経過検証を行った。利用の少なかった土日祝日の運行休止、平日の車両実働時間の拡大により予約不調は減少傾向となった。また予約受付期間の拡大により、拡大期間の予約が約15%超となり潜在需要が証明された。こうした取組により、利用の拡大に繋がっている。イベントでは事業PR等啓発も実施し、計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B 平成26年度(平成26年9月末現在)の利用者数は、25.1人/日となった。平成26年12月末時点では、32.0人/日まで伸びていることから、事業は着実に定着してきており、当初目標とした25人/日以上を上回っている。平成26年度(平成26年9月末現在)の登録者数は、2,311人(達成率96.3%)で、平成26年度の目標とした2,400人を、わずかに達成できなかった。</p>	<p>リピーターは徐々に増加しているが、新規登録・利用者の利用が鈍化していることから、引き続き登録・予約等の抵抗を軽減させるため、周知活動を継続的に行ない、以前より町民にニーズが高い鉄道駅への乗入れや生活スタイルに合わせた運行等、今後も利用状況の検証や町民の利用ニーズの把握を行いながら、近隣自治体等関連機関との連携も模索し、より利用される運行計画の検討を進める。</p>